

ぐるり30

～自治調査会だより～

2021
11

NO. 098

[発行日]
2021.11.1



【写真提供】三鷹市 【撮影場所】三鷹市大沢の里水車経営農家

▶多摩交流センターだより

- ・2021年度 広域的市民ネットワーク活動支援制度 申請団体 募集中 … 2
- ・広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介 … 3
- ・東京雑学大学2021年12月講義案内 … 3

▶オール東京 62 市区町村共同事業

- みどり東京・温暖化防止プロジェクト 市町村の取組紹介 … 4
- 稲城市 グリーンカーテンプロジェクト
- 羽村市 リユース食器貸出し事業
- 青ヶ島村 池之沢地区森林保全事業

▶調査研究報告書の活用に関するアンケート結果報告 … 5

▶編集後記 … 5

▶多摩・島しょ とっておき歴史発見 ～三鷹市～ … 6

Contents

11月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会



多摩交流センターだより

～活動支援制度を活用して広域的な市民活動を始めてみませんか？～

募集中

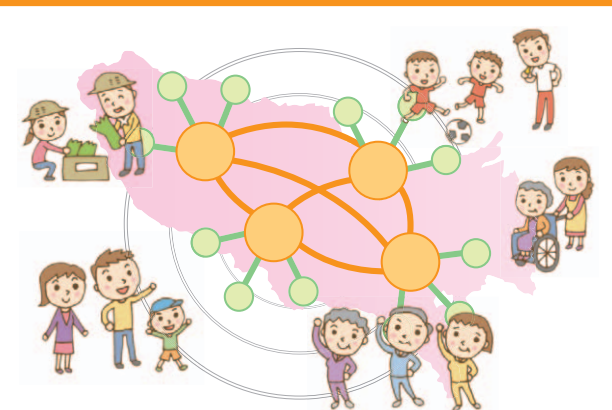
2021年度 広域的市民ネットワーク 活動支援制度申請団体

当調査会では、多摩地域を先導するまちづくり運動として、市町村の枠を越えて行われる市民活動がより拡大し、充実したものとなるために支援しています。

現在、市民活動は様々な分野・テーマに及んでおり、より市民の力が必要とされています。

日頃から行われている市民の広域的な活動の成果や発表の場の経費の一部を助成することによって、市民ネットワークや相互交流を推進し、多摩地域のひとづくり、まちづくりへとつなげていきます。

活動支援制度とは？



1 対象

市民活動を一つの市町村だけでなく、複数の市町村で行う活動として、新たに広域的な市民ネットワークをつくってみたい、もっと拡充したいとお考えの市民団体

2 助成率及び金額

- ・助成対象事業費の60%（30万円が限度）
- ・助成期間は、連続する3年度の間で2回まで（ただし、1年度間で1回の支援が限度）

申請の主な要件は？

1 支援の対象となる主な要件

- ・多摩地域で広域的な市民活動をしてみたい、または、拡充したいとの意向のある団体で、支援の必要があると認められること。
※既に自立的な活動を継続して行っている団体、過去に当調査会の助成制度・支援制度を受けた団体は対象外です。
- ・本拠地が多摩地域内にあり、活動区域が多摩地域内複数自治体内である（志向している）こと。

2 支援対象となる主な活動（事業）要件

- ・多摩地域のまちづくりにおける広域的な課題を活動テーマとしていること。
- ・多摩地域全体の市民を対象とした活動（事業）であること。
- ・市民団体が主体的、創造的に取り組む活動（事業）であること。

※そのほかにも申請に当たっての要件がありますので、下記の方法で制度の詳細をご確認ください。

制度の詳細は、多摩交流センターで配布している「2021年度広域的市民ネットワーク活動支援制度【活動支援】の手引き」、または、当調査会のホームページ（<https://www.tama-100.or.jp>）をご覧ください。「手引き」はホームページ内でダウンロードできます。

申請に当たっては、随時相談を受け付けていますので、お気軽にお問い合わせください（事業実施の2カ月以上前までにご連絡ください）。

※この制度は、当調査会の2021年度予算の範囲内での実施になります。

※既に自立的な活動を継続して行っている団体が対象の「2022年度事業助成」制度は、12月2日（木）まで募集しています。

問合せ先

公益財団法人 東京市町村自治調査会 事業部 企画課

東京都府中市新町 2-77-1 TEL 042-382-7781 受付時間：平日 9:00～17:00

広域的市民ネットワーク活動等助成事業紹介



ほっさわ

払沢の滝の滝まつり

日 時 2022年1月～3月

場 所 西多摩郡檜原村 払沢の滝周辺



内 容 東京都で唯一日本の滝百選に選ばれており、冬には氷瀑する「払沢の滝」。

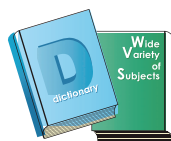
冬の檜原村の魅力を多くの人に知ってもらうために、1月～2月に払沢の滝の最大結氷日を当てる氷瀑クイズ（クイズの応募締切は2021年12月末日）を実施します。

その他にも今年はインターネットを使っでの情報発信に力を入れ、コロナ禍の中で魅力を伝える企画を準備中です。

主 催 払沢の滝まつり実行委員会

問合せ (社) 檜原村観光協会内 払沢の滝まつり実行委員会事務局
TEL 042-598-0069

Facebook <https://www.facebook.com/hinoharahossawa/>
(閲覧にはアカウントが必要です。)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

2021年12月講義案内

※受講の際は、必ずマスク着用のこと！

(受講料：会員は無料・会員以外は1回につき500円)

日 時	講義テーマ	教 授	教 場
12月2日(木) 14:00から	脳活性化に役立つユーモア川柳のすすめ ー心の健康ー	窪 宏太郎 氏 (木柳会会長)	武蔵野スイングホール 南棟10階 スカイルーム第1 (JR武蔵境駅北口 徒歩1分)
12月9日(木) 14:00から	核開発と再生エネルギー ーその後ー	小西 辰男 氏 (電子医療技術士)	コール田無 (西武新宿線田無駅北口 徒歩7分)
12月16日(木) 14:00から	超高齢化社会における相続対策 ー遺言・成年後見・家族信託ー	原 孝雄 氏 (FP/一級FP技能士、行政書士、 消費生活アドバイザー)	田無総合福祉センター 3F (田無公民館代替施設) (西武新宿線田無駅北口 徒歩12分)

☆申し込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

[問合せ先] TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原) 東京雑学大学ホームページ <http://t-zd.life.coocan.jp>

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、12月講義を中止させていただく場合があります。
詳しくは東京雑学大学までお問い合わせいただくか、東京雑学大学のホームページをご覧ください。

「多摩交流センターだより」の問合せ先

(公財) 東京市町村自治調査会 多摩交流センター

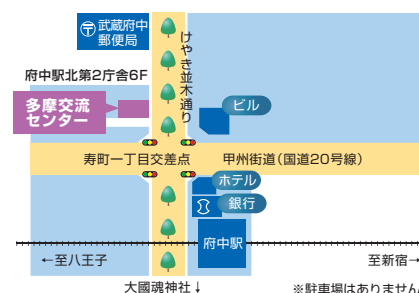
〒183-0056 府中市寿町 1-5-1 府中駅北第2庁舎 6F

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <https://www.tama-100.or.jp>

(当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的なネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。





オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村の取組紹介

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。

かれん

シーナ



本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された取組を紹介します。

1 稲城市

グリーンカーテンプロジェクト

稲城市では、グリーンカーテンによる地球温暖化防止に向けた啓発活動として、市内の各小中学校で「グリーンカーテンプロジェクト」に取り組んでいます。毎年5月には、ゴーヤとアサガオの種を全校に配布し、校舎だけではなく、プール脇のフェンスや飼育動物小屋など、各校において趣向を凝らしたグリーンカーテン作りに取り組んでいます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度は中止となりましたが、例年、中学校の生徒会を中心に市内の駅頭でゴーヤの種の配布も行っています。

【問合せ先】稲城市 緑と環境課 TEL 042-378-2111

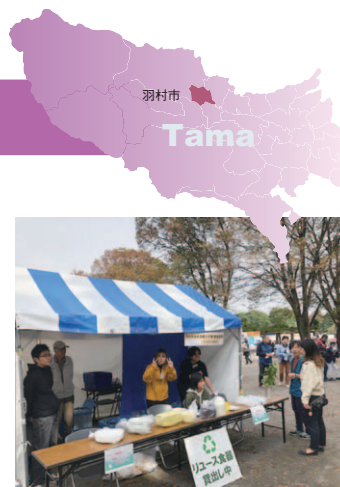


2 羽村市

リユース食器貸出し事業

羽村市では、市内の団体、事業者、個人の方が行うイベントなどで利用可能な、リユース食器の貸出しを行っています。2020年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い各種イベントが中止となり、貸出しはありませんでしたが、今後もリユース食器の利用を促進し、廃棄物となる使い捨て容器を削減することで、低炭素な事業や生活を推進していきます。使用後の食器は洗浄不要で返却するだけなので、利用者からは「ゴミも出ないし、エコで便利！」という声をいただいています。また、リユース食器の原料の低炭素化にもこだわった、バイオマスプラスチック製の食器も取り揃えています。

【問合せ先】羽村市 環境保全課 TEL 042-555-1111



3 青ヶ島村

池之沢地区森林保全事業

池之沢地区は、二重カルデラの中にあることから、地熱の影響で一年中暖かく、また、外輪山で囲われているため風も穏やかで、主に特産品である「青酎」の原料となるさつまいも畑や、切葉など地場産業が行われています。また、池之沢地区の真ん中にある内輪山(丸山)は、元々の防風林と樺の木を交互に植樹したことによる独特な景観が観光スポットになっています。2019年度から、池之沢地区全体の森林整備を実施しており、事業を継続することで環境と観光スポットの保全に努めていきます。

【問合せ先】青ヶ島村 総務課 TEL 04996-9-0111



調査研究報告書の活用に関するアンケート結果報告

当調査会は、毎年度、複数の調査研究報告書を作成し、多摩・島しょ地域市町村等に配布するとともに、ホームページ上 (<https://www.tama-100.or.jp>) でも広く公開しています。

各自治体の現場において、どのように報告書をご活用いただいているのか把握するため、4月から5月にかけて多摩・島しょ地域の39市町村を対象としたアンケートを実施しました。

多くの市町村にご活用いただいています

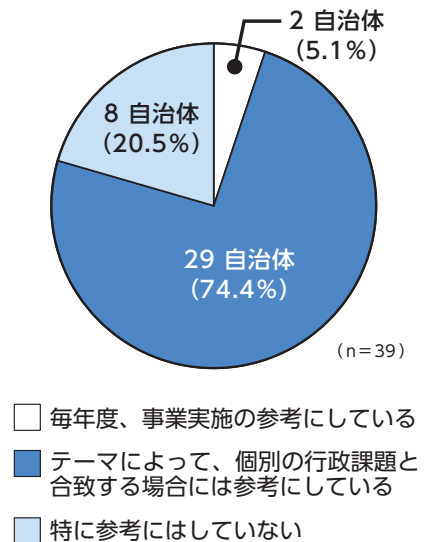
アンケートの結果、31自治体（合計79.5%）から「毎年度、事業の参考にして」「調査研究のテーマが市町村の行政課題に合致する場合には参考にして」とご回答をいただきました。（図参照）

また、2020年度の市町村事業の実施に当たっては、当調査会が過年度取りまとめた『ペット問題の解決がもたらす住民の生活環境向上に関する調査研究報告書』を参考に課題解決に取り組んだという回答をはじめ、他の調査研究結果も事業実施に当たっての参考として活用しているとの回答をいただいています。

各調査研究では、市町村が事業に取り組まれる際に参考にしていただけるよう、多摩・島しょ地域の自治体にアンケートを行い、地域の実態について明らかにするとともに、取組のポイントとなる点を先進自治体や有識者から伺い、取組の方向性をお示しするなど、多くの情報を掲載しています。

調査研究内容は、過年度のものも含めて当調査会ホームページに掲載しています。是非、ご参照いただき、各市町村の取組にご活用いただきたいと存じます。当調査会は、引き続き調査研究内容の充実に努めてまいります。

図 調査結果の活用状況



編集後記

- 霜月、11月、今年もあと2カ月となりました。秋も深まり、冬の訪れを告げる立冬は11月7日（日）になります。山の木々は色づき、厳しい冬が来る前のつかの間の穏やかな季節です。
- 穏やかな気候とは裏腹に、熱き戦いとなった衆議院議員選挙が先月末に無事終了しました。これから国政を担う議員の皆さんにはコロナウイルス対策や落ち込んだ経済の回復、複雑化する外交など山積する課題への対処に向け、議論を尽くし、より良い日本社会の構築に努めていただきたいと思います。
- さて、コロナ感染症については、国、自治体、医療界など各方面の努力が実り、ワクチンの接種が進んだ結果、希望する人々への接種はほぼ完了する運びとなりました。
春から夏場にかけて長く続いた感染拡大も下火となり、ようやく先月から緊急事態宣言が解除され小康状態を保っています。
- しかし、ワクチンを接種したから、感染者数が少なくなっているからと安心するのは現時点では少し早いかもしれません。
・ワクチンの効果はあくまで「感染しにくい」、「重症化しにくい」というものです。
・周りにウイルスが存在し、防御が十分でなければウイルスは体内に入ってきます。
・ウイルスと戦う体内の抗体が十分でない場合、運が悪けれ

ば発症し、たとえ無症状であっても家族や職場など周りの人々にうつしてしまう可能性があります。

・アレルギーなど様々な理由でワクチンを接種していない人々も必ず一定数いるということを忘れてはなりません。

つまり、ワクチン接種した人であっても、あと少しの間は注意が必要です。

- 感染力の強い変異株にも効く治療薬の開発が進み、治療方法が確立し、感染増加にも柔軟に対応できる万全な医療体制が整うまでの間は、マスクの着用、手洗い・うがいの励行、密の回避などの身を守る基本的な感染対策を続け、油断のない自己防御に徹する心構えが必要です。
- 有識者は「コロナウイルスはどうか夏と冬に流行が拡大するという季節性があり、世界中で概ね同じ時期に北半球でも南半球でも増加、減少を繰り返している。冬場にも流行のピークが現われる傾向がある。」と論じています。

この予測が正しければ、日本でも昨年同様にこの冬場にも、第6波の感染拡大が懸念されることになります。長らく続いた緊急事態宣言が明けて、気ぜわしさや気のゆるみがでる年の瀬を間近に控えています。くれぐれもお過ごしください。

(M.N)



多摩・島しょ

history of tama & tōsho

とっておき歴史発見

第8回 三鷹市



身近な場所で歴史を発見！ 今回はわたげのボクが『大沢の里古民家』と『三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」』を紹介するよ。



大沢の里古民家



大沢の里古民家は明治35(1902)年に作られた、四つ間取りの典型的な農家だよ。昔ここでは蚕を育てたり、わさびを栽培して江戸に出荷したりしていたんだけど、このわさびは今では残っていない貴重種だということがDNA鑑定でわかったんだ。古民家の隣にわさび田があって、水の音や鳥の鳴き声を縁側から聞くと素敵だよ。



三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」



三鷹の歴史と文化財を紹介する常設展示室だよ。実際に発掘された土器や、地層の断面をはぎ取った標本などから、約3万5千年前からの三鷹の長い歴史を見ることができる。日本で初めてDNA鑑定された古墳時代人骨の復顔模型や、7世紀に造られた貴重な上円下方墳「天文台構内古墳」のジオラマを見ると、当時の人々がどんな人だったのかよくわかるよ。

【現地案内】

◆ 大沢の里古民家 (三鷹市大沢2-17-3)

JR三鷹駅より小田急バス「榊原記念病院」「朝日町三丁目」または「車返団地」行き、【竜源寺】下車徒歩5分

◆ 三鷹歴史文化財展示室「みたかえる」(三鷹市下連雀9-11-7)

JR三鷹駅より小田急バス「調布駅北口」「仙川」または「晃華学園東」行き、【三鷹市役所前】下車すぐ

【情報・写真提供】 三鷹市スポーツと文化生涯学習課



本紙についてのご意見・ご要望は、ホームページの問合せフォームからお寄せください。

問合せフォーム▶



【発行日】2021年11月1日 【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会 【責任者】小暮 実
〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068
ホームページ <https://www.tama-100.or.jp> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています